



防災を備蓄から考える (東日本大震災に学ぶ)



- ①災害とは? : 天災と人災—災害における「自助・共助・公助」
 - ②防災と減災 : 災害被害を最小限に抑える「減災への備え」
 - ③減災7つの備え : 減災を備蓄から考える
 - ④クイズ あの時何食べた : 東日本大震災に学ぶ (別紙)
(いわき伝承みらい館作成資料にて)
 - ⑤小松町内会が考える「これからの町内防災対策」
- 参考資料 : 災害発生に備えて (防災意識啓発キット配布について)



①災害とは？：天災と人災－災害における「自助・共助・公助」

まずは「災害を知ること」からはじめよう！

災害の種類と被害の特徴

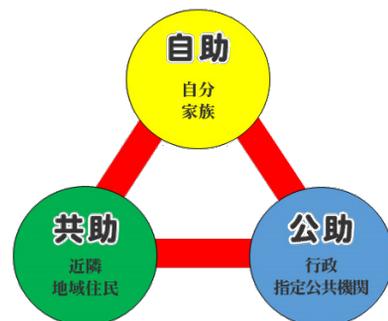
	災害の種類	被害の特徴
自然災害 (天災)	地震	建物の倒壊、家具の転倒による圧死やケガ、ライフラインの寸断などの被害。余震もある。
	津波	沿岸部で広範囲な被害。波にのみ込まれたことによる溺死や町にヘドロが打ち上げられるなどの被害。
	洪水	台風や集中豪雨による河川の氾濫、浸水などの被害。日本では夏場を中心に数多く発生する。
	土砂崩れ	局地的だが建物や橋の倒壊などの被害。地震や豪雨が引き金で二次災害として発災することもある。
	大雪	山では雪崩、集落では孤立状態になることもある。雪下ろし、雪かき中の事故も多い。
	火山の噴火	土石流による直接被害だけでなく、有毒ガスが噴出した場合には長期間、遠方へ避難する必要がある。
	その他：竜巻、山火事、雹（ひょう）、熱波、干ばつ、伝染病	
人的災害 (人災)	工場火災・爆発	ヘリコプターを使った大規模な消火活動であれば、地域住民は周辺からの避難が必要になる。
	ビルの倒壊	老朽化や手抜き工事などが原因。途上国では今でも発生回数が多い。
	電車の脱線事故	発生率は低いが、一度起これば死傷者が発生したり、交通インフラに大きな影響を及ぼしたりする。
	有害物質の流出	重油タンカーの座礁事故など。海洋汚染などの環境・人体への影響がでる。
	原発事故	放射線による人体への影響のほか、長期の避難生活や地域の分断といった社会的影響も大きい。
	戦争	兵士だけでなく民間人の被害が出ることもある。難民・避難民への人道支援が必要になる。
	その他：放火、大停電、将棋倒し、テロ、暴動など	

災害対策について

災害対策には「自助」「共助」「公助」の3つがあります。

「自助」は自分自身や家族などで「自分たちの身は自分で守ろう」とする動きです。「共助」はご近所や地域で「困ったときはお互いに助け合おう」とする取組みで、災害ボランティアの活動もここに含まれるでしょう。「公助」は行政や関係機関が法律や計画に基づいて実施する公的な災害対策です。

「自助」「共助」「公助」はどれも不可欠であり、互いに補完し合う関係にあります。



②防災と減災：災害被害を最小限に抑える「減災への備え」

防災と減災の違いとは？

防災

災害被害を「ゼロ」に近づける備え



地震



洪水



台風



津波

減災

災害被害を最小限に抑える備え



より現実的・合理的

③減災7つの備え：減災を備蓄から考える

減災のための7つの備え

1 自助と共助



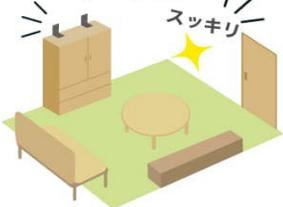
2 地域の避難場所 危険区域の確認



3 地震に強い家にする



4 家の中に 安全空間をつくる



5 備蓄・常備品の 準備



6 家族間での 防災会議



7 地域との つながりを大切に



⑤小松町内会が考える「これからの町内防災対策」

小松防災体制の確立を目指して



近年、大きな被害をもたらす自然災害の発生が地球規模で多くなっているように感じます。地球温暖化による気象条件の変化がその要因の一つであるとは思いますが。また、身近な地域での様々な開発が、その地域特有の災害発生の要因となっている面もあるのではないかと感じます。その様な現状の中、地域ぐるみでの「防災への備え」が今まで以上に重要になってきたように感じます。

そこで、今回小松町内会の新たな活動の一つとして「小松防災体制の確立」に取り組むこととしました。一人一人の防災意識の向上と共に、地域を知り、地域に積極的に関わる事で、新たな地域コミュニティの創造にもつながるのではないのでしょうか。

この活動を通じ、より多くの方が、新たな地域コミュニティの必要性に気づき、一歩踏み出してくれることを期待します。

防災は、日頃の準備と、

向こう三軒両隣！！



小松防災関連事業の内訳

小松防災関連図

小松防災
マニュアル

小松防災
ハンドブック

小松災害
ハザードマップ

小松防災安心お助け隊

防災関連 各事業の概要

1. 小松防災マニュアル:小松町の防災の基本方針とその具体化
2. 小松防災ハンドブック:日常から災害発生後までのとるべき行動集
3. 小松防災安心お助け隊:高齢者／子供を中心に防災行動を助ける
小松町民の自主組織
4. 小松災害ハザードマップ:小松独自データに基づく自製ハザードマップ



2020年11月に町内全戸に配布しました 新たな啓発キットの配布を検討しています

小松町内にお住いの皆さまへ

小松一、二、三丁目町会

あなたの備えは万全ですか？

災害発生に備えて
防災意識啓発キット配布について



近年、ゲリラ豪雨や、大型台風、今後想定される大型地震等の災害の危険は、過去の時代に比べ、格段にその発生の可能性が高くなっているように感じます。今まで以上の「災害への備え」が重要になってきています。

その様な、防災の備えに最も重要なことは、「キチンと準備すること」と同時に、「地域での助け合い、共助の姿勢」ではないでしょうか。

ここでは、「準備」ためのキッカケとして、地域の災害MAP等をお届けいたします。まずは、お住まいの地域の避難所／危険な場所等を、ご家族や周囲の方々と確認してみてください。

今回お届けする資料は、今の時点で行政が作成している資料だけになります。残念ながら「小松地区の身近な情報」については、お届けできていません。小松町内会としても、「より身近な、活きた情報」を、皆様と共有しようと、防災組織の充実／資料の作成に取り組んでいます。もう少しお待ちください。

災害に対する日頃からの心掛けと努力（自助）や、行政や消防等からの情報や支援（公助）以外に、「共助（地域や近所の助け合い）」が重要です。その最小単位が「向こう三軒両隣」です。その助け合いがいざというときの大きな力になります。その「ご近所力」の醸成の為に小松町内会は努力していきます。

是非、皆さんの町内会活動へのご支援もお願い致します。



以下、今回お届けする資料の概要です。ご確認ください。

万一、不足等あれば以下の担当まで、ご連絡ください。お届けいたします。

また、その他疑問／質問等あれば、遠慮なくご連絡ください。出来る限り、対応させていただきます。行政等への問い合わせ等に関して、お時間を頂く場合もあるかと思いますが、ご容赦をお願い致します。

(同封資料一覧)

- ① あなたの備えは万全ですか？(本状)
配布の主旨と目的についてのご案内。同封資料の一覧。
- ② 自分の身は自分で守る(災害に備えて)
茨城県発行の防災に関する、啓発資料です。各種災害から身を守るための基本的な知識が記載されています。
- ③ 土浦市災害ハザードマップ
土浦市発行の「霞ヶ浦／桜川の浸水想定図」です。各種避難所等の一覧や、防災・災害情報の入手方法も記載されています。
※「避難所」と「避難場所」は、その役割に違いがあります。ご注意ください。
- ④ 土浦市土砂災害避難地図
土砂災害によって被害が想定される区域の地図です。また、避難所等についても記載されています。
- ⑤ 土浦市液状化危険度マップ
液状化の危険性の高い地域を示した地図です。液状化の仕組みや、地形図で見る過去の土浦の様子もろ枚掲載されています。明治／大正／平成を見ることが出来ます。また、日頃の備えや、避難所等も記載されています。
- ⑥ マイ・タイムラインを作成してください！
(裏面は、ご自宅の災害ハザードを確認してください)
マイ・タイムラインとは、「大規模な台風などから、自身を守るための行動を事前に作成した一覧表」の事です。その作成方法や、作成例の確認方法が掲載されています。

(本件に関するお問い合わせは、以下にお願い致します)

小松一、二、三丁目町会
会計担当：廣瀬 房男
土浦市小松 3-5-43
090-4739-2463

防災を備蓄から考える
(東日本大震災に学ぶ)

いわき 震災伝承 みらい館

Iwaki 3.11
Memorial and Revitalisation
Museum

■ 利用案内

開館時間 9:00～17:00 ※入館は16:30まで

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始
※諸般の事情により、開館時間の短縮や臨時休館をさせていただきます場合がございます。

入館料 無料

利用予約 10名以上の団体で施設見学を希望される場合は、当館ホームページに掲載の「震災伝承施設見学 兼 震災語り部講話申込書」による事前予約が必要です。必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお申し込みください。
※収容人数の関係上、団体予約が重複した場合などは、時間の調整やご希望に沿えない場合があります。
悪しからずご了承ください。

その他 貸出車イス2台、AED、FreeWi-Fi

●所在地
〒970-0229 福島県いわき市薄磯三丁目11

●お問合せ先(震災語り部、震災関連資料等)

TEL.0246-38-4894

FAX.0246-38-4895

ホームページ

<https://memorial-iwaki.com/>

※当館ホームページのメールフォームからもお問い合わせいただけます。



ホームページQRコード

小松町防災訓練2024 参考資料

小松一、二、三丁目町会
V1.0

2024年11月24日